

にやんといい暮らし

ひこね暮らし



彦根市移住サポートパンフレット

彦根で暮らそう!
～移住応住ガイド～
彦根市役所 企画課
〒522-8501 滋賀県彦根市元町4-2
☎0749-30-6101
ijusokushin@ma.city.hikone.shiga.jp
2025年作成

ひこね暮らしのススメ

琵琶湖と鈴鹿山脈に囲まれた豊かな自然に恵まれた彦根市は、江戸時代に彦根藩35万石の城下町として本格的な歩みを始め、現在に至るまで歴史的・文化的な風情を色濃くとどめるとともに、中世から近代にかけての貴重な歴史と歴史遺産が残ります。

新しさと古き良き面影が残るまちは、移住を考え始めた移住初心者さんにお勧めしたい

『ちょうどいい暮らし』を営むことができます。

都会過ぎず田舎過ぎないちょうどいい暮らしを彦根で始めてみませんか？

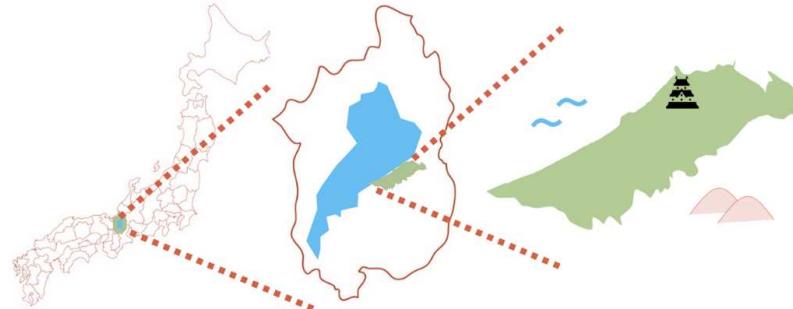
contents

- 03 彦根市ってこんなトコロ
- 05 彦根市内の地域の紹介
- 13 ひこねのあれこれを知りたくなったら
- 15 移住者インタビュー
 - 小林さんご夫婦（Iターン）
- 16 移住者インタビュー
 - 吉田さん（Uターン）
- 17 移住者インタビュー
 - 福田さんご夫婦（J、Iターン）
- 18 移住者インタビュー
 - 森さんご夫婦（I、Uターン）

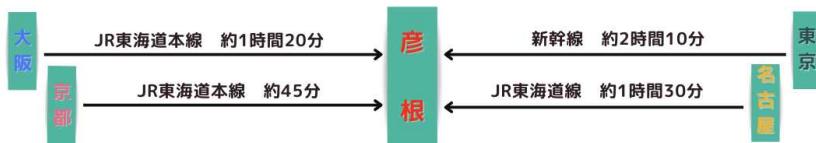


彦根市ってこんなトコロ

彦根市は、滋賀県の東北部に位置しています。古くから交通の要衝でもあり、どこに行くにもアクセスしやすい地方都市です。



電車でのアクセス 京阪神、中京、東京圏内も日帰り可能でアクセス抜群！

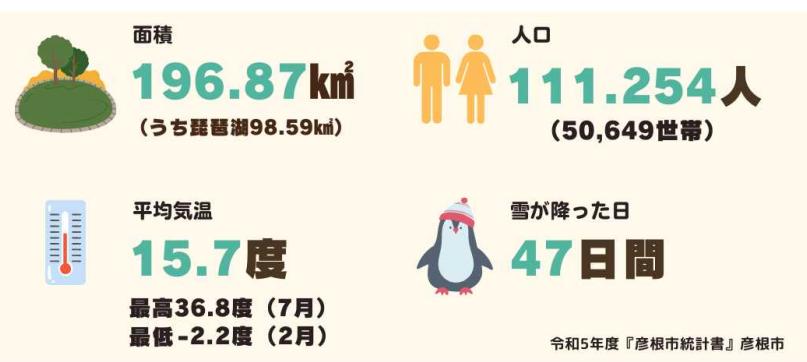


交通環境 交通機関はJRと私鉄（近江鉄道）、湖国バスが市内を走っています。

JR	最大：1時間8本程度 通常：1時間4本程度	近江鐵道	最大：1時間4本程度 通常：1時間1本程度
湖国バス	最大：1時間3本程度 通常：1時間1~2本程度	愛のりタクシー	バス交通のない地区で 予約制相乗りタクシーを運行中

※旧城下町地区や新市街地区は自家用車がなくても、自転車でも十分生活することができます。
福橘地区や河瀬地区、鳥居本地区は公共交通機関の運行本数が少ないため、自家用車の所有をおススメします。

数字で見る彦根市



1.名産の彦根梨 2.市の花しょうぶ(正明公園) 3.田園風景が広がる河瀬地域 4.ノスタルジックな商店街で開催される彦根七夕まつり 5.国宝彦根城の春 6.彦根市のゆるキャラひこにゃんは毎日彦根城周辺をお散歩します 7.彦根城のお掘りで子育てをする白鳥 8.黄昏時の琵琶湖(彦根港)

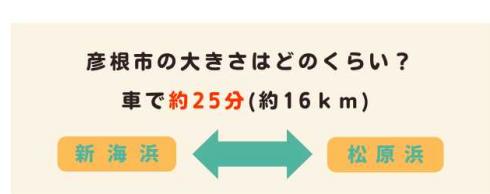
彦根市内の地域紹介

ここでは、彦根市内を彦根城を眺められる地域、便利に暮らせる地域、田園風景が広がる地域、里山暮らしができる地域など、7つに分けてご紹介いたします。移住後にどんな暮らしがしたいのか、じっくりしっかり考えて、住みたい地域を選びましょう。

7つの地域マップ



市内は平坦な地形が多いところがポイントです。
自転車でもラクラク移動することが可能で、生活もしやすいですが、自家用車があるとさらに便利に暮らすことができます。



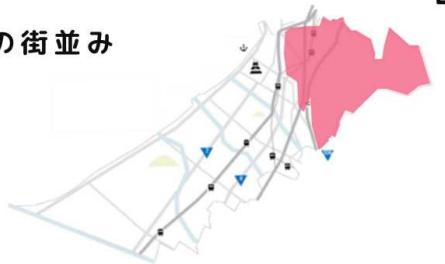
豊かな山林と宿場町の街並み

1

とりいもと 鳥居本地域

彦根北東部の地域

車必要度★★★★★



豊かな山林に囲まれた農村集落と中山道の宿場町の雰囲気が残る地域。
市内を南北に結ぶ国道8号が通っており、沿道に製造業や運輸業が立地しています。
地域内には、小中一貫校である鳥居本学園があり、豊かな自然と歴史を学習に取り入れるなどの特色があります。



新旧が入り混じる城下町

2

旧城下町地域

東海道本線を境に西(湖)側
芹川と米原市までの間の地域
車必要度★★☆☆☆



町並みに国宝彦根城や寺社、町屋等の歴史遺産が残る地域。

彦根駅周辺は市役所や図書館、オフィス、商業施設、宿泊施設が立地しています。
また毎年夏に開催されている「鳥人間コンテスト」の開催地、松原浜や彦根総合スポーツ公園などがあります。



都市機能が充実した新興住宅地

3

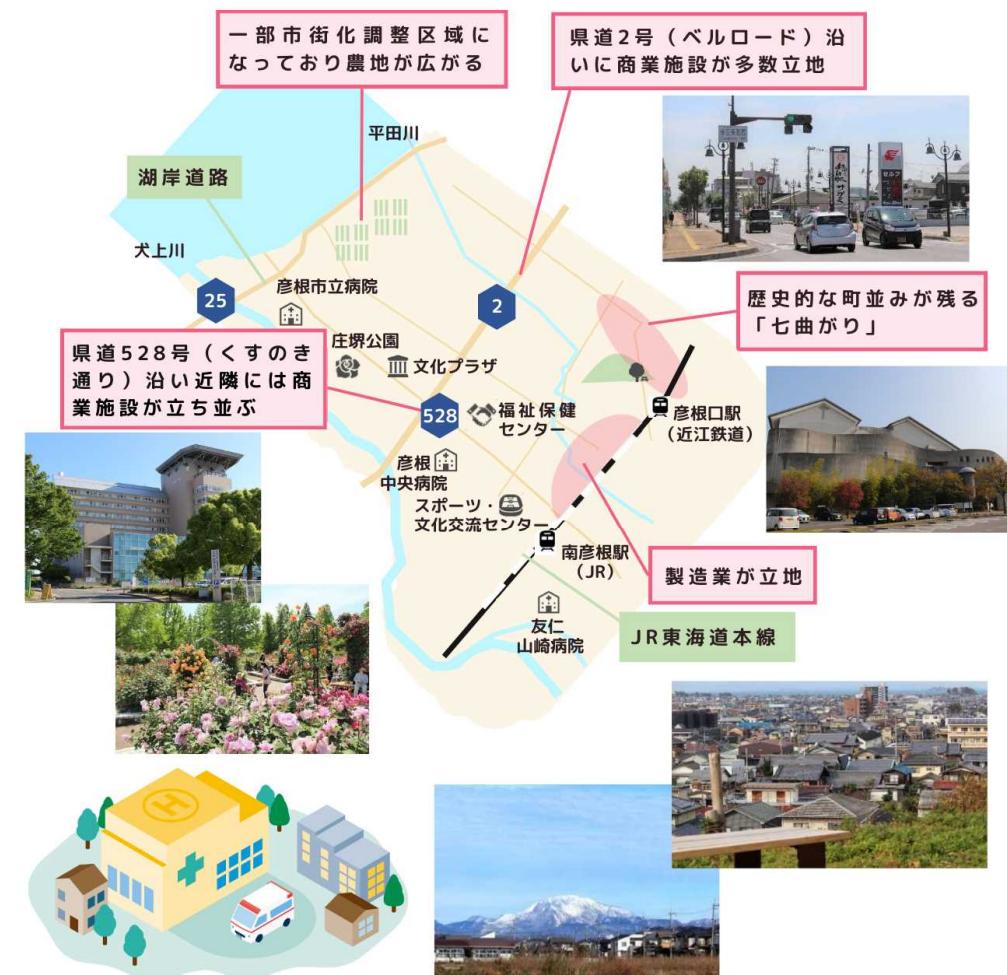
新市街地地域

東海道本線を境に西(湖)側
芹川と犬上川の間の地域
車必要度★★☆☆☆



昭和中期から後期に住宅地が整備され、人口が多く集まる地域。

東西南北に県道が通っており、県道沿いには多数の商業施設が立地しています。歴史的な町並みが残る「七曲がり」や総合病院、スポーツ・文化交流センター、演劇やコンサートなどが開催される文化プラザなどもあります。



4

幹線道路・高速IC近くの新興住宅地

彦根駅東 地域

東海道本線を境に東(山)側
佐和山から芹川の間の地域

車必要度★★★☆☆



国道8号、国道306号、名神彦根ICが位置しており、交通条件に恵まれた地域。
彦根駅東側には新たに商業地・住宅地が整備され、人口も増加しています。
国道306号線沿いの多賀町に近い住宅地は、背景に鈴鹿山脈へと連なる山並みがあり、緩やかな傾斜が続きます。



5

都市機能と歴史を兼ね備えた新興住宅地

高宮 地域

東海道本線を境に東(山)側
芹川と犬上川の間の地域
車必要度★★★☆☆



南彦根駅周辺にショッピングモールや総合病院、国道8号線沿道に商業施設が立地する地域。近江鉄道・新幹線沿いに製造業や運輸業などの産業が集積しています。
中山道六十四番目の宿場町として、また多賀大社への門前町としても賑わい、今も多賀大社一の鳥居や松尾芭蕉の句碑、無賃橋など当時を偲ばせる風景が残っています。



ほどよいバランスの農村地域

かわせ

河瀬 地域

宇曽川と犬上川の間の地域

車必要度 ★★★★☆

6

駅周辺や国道8号沿道を中心に商業地・工業地がコンパクトに集積する地域。
河瀬駅から少し離れると豊かな田園風景が広がります。また稻枝地域間にまたがる荒
神山の麓には、野外イベントなども行われる広大な総合公園や、市内で1番大きな子
育て支援センターがあり、市内外から多くの方が集まります。



豊かな自然と歴史遺跡がある農村地域

いなえ

稻枝 地域

宇曽川と愛知川の間の地域

車必要度 ★★★★☆

7

里山、自然、歴史遺産などに恵まれた地域。

昔から続く農村集落が点在し、彦根梨・米などの生産が盛んでJAの直売所もあります。車の必要性が高い地域ですが、稻枝駅周辺は、スーパーなどの商業施設や大学が立地し、車がなくても生活ができます。



ひこねのあれこれを知りたくなったら

先輩移住さんに教えてもらった彦根に移住するなら知っておきたいあれこれをお紹介。ぜひご参照ください。

生活

- スーパー、コンビニ、ドラッグストア、飲食店、娯楽施設、総合病院（休日急病診療所）など、日常生活に必要な施設はそろっている。
- 市内各所にホタルが生息している。

公共交通機関

- 公共交通機関（特にバス）の運行本数は住む場所によってかなり違う。
- 京都や大阪、兵庫も電車1本で行けるので便利。

道路

- 昔ながらの道は道幅がかなり狭いので、運転には注意が必要。
- 坂道が少なく、自転車での移動がしやすい。

お出かけ

- 名神彦根ICがあるので出かけやすく、福井県や岐阜県、愛知県にもすぐに遊びに行ける。
- 県内に琵琶湖やスキー場、アウトレットモール、話題の飲食店など、お出かけスポットがたくさんあって楽しい。

冬の生活

- 12月ごろにはスタッドレスタイヤに付替えておくと安心。
- 東京や大阪よりも雪の降る日は多いが、しっかり積もるのは年に2~3回程度。
- 雪かきスコップと車の雪下ろし器具の持持はマスト。

その他

- 時刻を知らせる鐘がある。
- 大学が3校あるので学生さんが多い。
- 鳥人間コンテスト選手権大会は、市内の湖畔松原浜で行われている。



1.環境庁の「日本の音風景百選」にも選ばれている時刻鐘は、6時・9時・12時・15時・18時の1日5回、城下に時を知らせている。2.市内を走る近江鉄道はワンマンカー。3.雪化粧の国宝彦根城と玄宮園。4.琵琶湖畔の松原浜で毎年開催される鳥人間コンテスト選手権大会のプラットフォームが建設されると、いよいよ夏本番。5.昔ながらの細い路地は、軽自動車がやっと通れる道幅。6.昭和レトロな商店街が市内に多数ある。7.彦根城から見た彦根駅周辺。市役所や商業ビル、宿泊施設などが集まっている。

気になる地域には1度は必ず訪れましょう！

移住検討地には1度は訪れてみることが、移住成功のカギの1つ。年間を通じて魅力満載の彦根の気になる地域にも、1度は必ず訪れてください。



春：平田川沿いの八重桜。市内に数ある桜スポットの1つ。 夏：市の西側は琵琶湖と面しており、マリンスポーツやバス釣りなどを楽しむことができます。 秋：11月上旬に行われる「ひこねの城まつりパレード」は、市内の学校に通う生徒・学生による子ども大名行列や子ども時代風俗行列など、数百名による華やかな時代絵巻が繰り広げられます。 冬：雪化粧の国宝彦根城。天守が国宝指定されている5城のうちの1つ。

知りたいことを調べよう！

移住を検討し始めたいろいろ気になることが出てくるもの。彦根に移住するなら知っておきたい情報は、各サイトからチェックしましょう。また東京のふるさと回帰支援センターや、大阪ふるさと暮らし情報センターでも相談を受付しています。



彦根で暮らそう!
～移住定住ガイド～

移住希望者への補助金や支援に関しては、
移住ポータルサイトをご覧ください。



ひこね子育て応援サイト
ひこ根っこ!

彦根の子育て支援や取組みに関しては、
ひこね子育て応援サイトをご覧ください。



彦根市空き家バンク
カモン

彦根空き家バンクの物件情報は、
公式ホームページからご覧ください。



Mother Lake WORKしが
滋賀県が運営する企業情報サイト

滋賀県が運営する企業情報サイトです。
県内企業の紹介や採用情報を掲載。



憧れの田舎暮らしを求めて。 理想の古民家との出会い。

**小林 満さん
知子さん**

十割手打ちそば処
百百百 (どども)

愛知県でそばの修行中に、古民家探しを始める。数年後好みの物件を見つける。2019年6月より、登録有形文化財である中山道鳥居本宿の古民家『百々家住宅』を活用し、そば屋を開業。手打ちの十割蕎麦を求めて県外からお店を訪れる人も多い。

— 立派な物件です。改裝準備は大変だったのです？
中は江戸時代から最近まで使用していたものが大量に置いてありました。業者に頼まず、通いながら自分たちで1年程かけ、荷物を運び出したり掃除をして本当に大変でした。その後、工事の期間が2年。建物は元々立派でしたが、床と厨戸を改装し、蔵などを取り壊しました。その他に屋根と壁の修理、アルミの建具を昔の形に戻すため木の建具に変える工事が対象で、一部補助が出ました。

— お住いの地域はどんなところですか？
ここ鳥居本は城下町の地域と比べて田舎の風景ですが、トンネルを越えれば市街

地へ出られるので不便には感じません。中心街は飲食店も多いし、ホームセンターもスーパーもそろっているし、コンパクトに生活に必要なものが集まっています。良いいです。滋賀県はスキー場でも遊べますし、移動するにも便利な場所だなと思います。

— 新天地での暮らしはいかがですか？
日々お店を開店させてる所以慌ただしいです。周りの人も初めは「ここでお店やって大丈夫？」と心配していましたが、今ではご近所さんがパートさんとして手伝ってくれています。パートさん経由で地元の方を紹介していただき、おかげでそばを植えたりも出来ています。市内の方も食べに来てくれますし、知り合いも徐々に増えました。せっかくの中山道なので、周辺にお店が増えるといいですね。



「彦根で暮らそう！」のサイトに掲載されたインタビューを再収録・再編成したものです。



どんな時でも一人一人に寄り添える ローチョコレートを目指して

吉田 理恵さん

Hareto-Keto
Raw Chocolate
&
Detox Cafe
-ハレトケト-

彦根市の指定文化財である足軽組屋敷でデトックスカフェを経営。看護師として勤務していた時に食と健康の関係を実感し、治療が必要な状態に至るまでの予防医学が重要だと気付き彦根にリターン後、看護師としての経験を活かした栄養学や予防医学の観点から、植物の持つ健康成分をギュッと詰め込んだお菓子を製作している。

— 看護師からスイーツ製作に転身した経緯は？

ローチョコレートを知った時に「これだ！」って思いました。食べた時の心と体の充足感に感動して…。それから独学で作ったり勉強したりしていました。海外が好きでよく旅行に行くんですが、本当は海外で暮らそうと思っていたんです。だけど「日本で何か残したい」と思い帰国してきました。帰国後すぐに物件探しして、知人や自治会の方々に協力していただいて、今の古民家でお店を始めることが出来ました。

— 立派な足軽屋敷です。和風建築を選んだ理由はなんですか？

ネットでいろいろ探しました。草津とか信楽も好きなので滋賀県のいろいろな場所を調べました。改装出来るちょっと古いお家がいいなと思っていたんです。なんかいい所だな」と思った物件が、たまたま友達のある彦根にあるものでした。前の方もきれいに使われていたので、すぐにお話を進めてもらいました。空き家パンクさんと自治会の方々のご協力の元、物件をお店として使えるようにしていただきました。

— 新しくチョコレート工場ができたそうですね

始めは特に何も考えてなかったのですが、近くにカフェとは別に作る場所が欲しいと思ったんです。お借りしている場所は以前別の人がお店をやっていた場所で、そこもまた足軽屋敷です。手が回らないことが増えてきたので、工場はアルバイトさんに細かいお手伝いをしてもらっています。

— 地域の人との関わりは？

お店の開いてる日が限られているので交際が多いってほどではないですが、立ち話したり、ご挨拶したり。あとはご近所さんや裏の人とか、自治会の方からも近隣の情報をいただいたり、結構気にかけてもらっています。周りの方に見守っていただいている。



「彦根で暮らそう！」のサイトに掲載されたインタビューを再収録・再編成したものです。



I J ターン

帰ってきた滋賀で、気軽に立ち寄れる洋服屋を

**福田 弘治さん
麻依さん**

セレクトショップ
おんど

滋賀県高島市出身の麻依さんと和歌山県出身の弘治さんは、2人のお子さんと一緒に移住されました。

東京でアパレル会社に勤めた後、彦根市の中央商店街で洋服のセレクトショップを経営しています。

— 移住先を決めたポイントは？

県内の他の市町を見ましたが、洋服屋さんをやるならここかなと思いました。田舎すぎず都会過ぎず、程よい町の雰囲気がいいですね。のどかな景色もあれば、城下町のような場所もあります。商店街は昭和の香りが残りつつ、新しいお店もあって惹かれました。駅前周辺は自転車で移動できるので、都会生活からでもすぐに馴染めました。

— 子育てについて

引っ越してきた時期は保育園の受付には時間がなく、途中入所も空いてなかつたので数か月待つことになりました。でも予定より少し早く入れることになり、今は保育園に通っています。そういうタイミングも考えて引っ越しするといいかも知れませんね。移住前に市役所に相談に行ったのですが、その時頂いた学区や地域ごとの資料はとても助かりました。

— 周りの方との関係はどうでしょうか？いろいろな人が繋いでくれた縁で、おかげさまで家もテナントも決まりました。ご近所の方も温かく受け入れてくれたり、子どものこと含め見守ってくれています。

— 暮らしてみて感想をお願いします
細かい事ですが、病院、銀行など事前に調べられることはチェックするのが良いと思います。メガバンクが無くて仕事の面で困ったなど感じたので… 来て早々に子どもが具合を悪くしましたが、大きな病院もあり、すぐ診てもらえてホッとしました。

バタバタとお店の準備に追われていたので、まだ行けない場所もありますが、これからいろいろな場所に出向いてみたいと思います。
お店もただの洋服屋だけでなく、買い物しなくとも気軽に寄っていってもらえる場所にしたいですね。ちょっとお茶が出来たり、人が集まれる場所になればなーと思っています。



「彦根で暮らそう！」のサイトに掲載されたインタビューを再収録・再編成したものです。



I U ターン

馴染みのある滋賀で始めた水辺の暮らし。

**森 勝昭さん
早紀さん**

流星釣具
リュウセイ
フィッシングワークス

地元愛知県豊田市で2002年から釣竿・釣り具販売の通信販売専門店を始めた勝昭さん。新たな目標のために移住した彦根市で、関東からリターンされた早紀さんと出会い、家庭を築かれています。

— 彦根に移住を決めたきっかけは？

勝昭さん：子どもの頃から釣りが好きで、水辺の近くに住みたいと思っていました。いろいろな所に釣りに行ってはその環境を見ていて、30代後半くらいから新たな目標として、漁業か釣り船をやりたいと思い、本気で移住を検討し始めました。最終的に彦根を選んだのは、自分が作成した移住計画書とマッチしたためです。20年前から琵琶湖には通っていました。いいところであることは知っていたし、今となっては彦根でよかったと思っています。

— 住まいはすぐに見つかりましたか？

勝昭さん：漁協から近くで予算内でとなると、なかなか見つからず、3年掛かりました。結局予算はオーバーしちゃったけど、先輩移住者さんから紹介してもらったいろいろな縁で、この物件を見つけることができました。ここは漁港も川沿いからすぐだし、自然に囲まれているけど、徒歩圏内に日常生活に必要なものは揃っていて便利だし、昔ながらの地域なので少し田舎っぽい近所付き合いがあつたりと、自分としては理想的な環境です。キラキラした刺激がいっぱいある都会ではないけど、自分のように釣りや自然の中での遊びが好きな人には、この彦

根はいいところだと思います。

— 子育て環境はどうですか？

早紀さん：実家も通っていた学校もすぐそこですが、この地域に初めて訪れたのは5.6年前のイベントでした。これまで感じていたイメージと違って、昔からの地元の方が古民家へ移住された方のお手伝いをされていたり、あしがらのノイエという集える場所もあり、コミュニティ活動も活発なので驚きました。ママたちが集まる活動もあって、生後2ヶ月の娘を連れて梅シロップを作る会に参加した際は、ほかのママが子どもを代わるがわる抱っこしてくれて、子育てはひとりじゃないんだなと思って、不安定な産後に心強い気持ちになれました。ご近所もいい方ばかりで、犬や子どものことを気にかけてくれるあたたかい環境です。



「彦根で暮らそう！」のサイトに掲載されたインタビューを再収録・再編成したものです。